

審査員紹介



© 岩切等

白石光隆（ピアノ・審査員長）

東京藝術大学附属高等学校を経て、東京藝術大学、同大学院を修了。1989年ジュリアード音楽院へ進む。1990年ジュニア・バックウアー国際奨学金コンクール入賞。1991年学内におけるコンチェルト・コンペティションで優勝し、リンカーンセンターでジュリアード・オーケストラと協演。1992年帰国。

1994年第63回日本音楽コンクール声楽部門において、優れた日本歌曲の演奏に贈られる木下賞（共演）受賞。特筆すべきはその生き生きとした、圧倒的なリズム感と構築性、そして独自の宇宙を感じさせる微細なまでに磨かれた美しい音である。またレパートリーが広く、邦人、現代作品など分野を問わず才能が遺憾なく発揮されている。財団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業などの活動では全国を巡り、子どもたちへの教育プログラムにも積極的に取り組む他、後進の指導やさまざまなコンクールの審査員も務める。1年間の活動の集大成として、毎年定期的に東京で開催するソロリサイタルは2020年9月で33回を数える。意欲的なプログラムとさわやかなステージも魅力的な、数少ない実力派である。

ピアノを金澤桂子、高良芳枝、伊達純、小林仁、マーティン・キャンニンの各氏に、室内楽をフェリックス・ガリミア、伴奏法をジョナサン・フェルドマンの各氏に師事。現在、東京藝術大学、お茶の水女子大学非常勤講師。



磯給里子（ヴァイオリン）

桐朋学園大学卒業後、文化庁芸術家在外派遣研修員としてブリュッセル王立音楽院に留学し、修士課程大賞を受賞し首席修了。マリア・カナルス国際コンクールほか国内外のコンクールで入賞。

ソリストとして日本フィル、東京フィル、名古屋フィル、チェコフィル、フランダース放送響他国内外のオーケストラと多数共演し、「知性と感性と技術の実力派」と高い評価を得る。宮崎国際音楽祭へは毎年参加、「題名のない音楽会21」「アインシュタインの眼」「クラシック倶楽部」ほかテレビ・ラジオ出演も多く、2010年よりFMヨコハマ「磯給里子のSEASIDE CLASSIC」のパーソナリティを務めている。

ソロ活動に加え、「デュオ・プリマ」「EnsembleΦ（ファイ）」「椿三重奏団」など室内楽でも多彩な演奏活動を展開。一財）地域創造公共ホール活性化支援事業登録アーティストとしてアウトリーチ活動にも積極的に参加している。

デビュー以来10枚のCDをリリース。2020年2月に発売された椿三重奏団のCDは「レコード芸誌特選版」に選出された。

真摯な演奏への取り組み、確かな技量に基づいたヨーロッパ仕込みの洗練された感性には定評があり「気負いのないしなやかな活動ぶりが、クラシック音楽シーンで着実に存在感を放っている」など各媒体で高く評されている。



加藤直明（トロンボーン）

東京藝術大学音楽学部卒業。
トロンボーンを故 白石直之、故 永濱幸雄、神谷敏、イアン・バウスフィールド、箱山芳樹、山本浩一郎の各氏に、室内楽を栗田雅勝、神谷敏の各氏に師事。

オーケストラや室内楽での客演、レコーディング、ミュージカルの分野でも活動を展開。

東京藝術大学管弦楽研究部（現・藝大フィルハーモニア管弦楽団）を経て、現在はソリストとして、またTrio “N” や金管五重奏BuzzFiveのメンバーとして全国各地のコンサート出演。

アウトリーチ活動も積極的に行っており、その功績はオーディションの審査員や研修会講師としても招かれる程厚い信頼を得ている。

一般財団法人地域創造《公共ホール音楽活性化事業》協力アーティスト。

Trio “N”、金管五重奏BuzzFive、アンサンブル東風、Da-Bone、東京Sliding倶楽部、The Best Bee-Brass in Japan、シンフォニエッタ静岡の各メンバー。



田村真寛（サクソフォン）

神奈川県出身。東京藝術大学卒業。同大学在学中に安宅賞を受賞。第3回ジュニア・サクソフォン・コンクール 第1位。第19回日本管打楽器コンクール サクソフォン部門第1位、及び特別賞を受賞。

NHK-FM「名曲リサイタル」出演。「クローバー・サクソフォン・クワルテット」のメンバーとして各地でリサイタル等の活動の他、CD「CLOVER」、「Precious」、「ゴルトベルク変奏曲」をリリース。

(財)地域創造公共ホール音楽活性化事業支援アーティスト。

「クローバー・サクソフォン・クワルテット」アルト・サクソフォン奏者。洗足学園音楽大学、神奈川県立弥栄高等学校非常勤講師。

現在はソロ、室内楽、オーケストラ、レコーディング等での活動の他、マルチリードプレイヤーとしての活動やジャズへのアプローチも行い、様々な角度から音楽、サクソフォンの可能性を追求している。

サクソフォンを大和田雅洋、須川展也、富岡和男の各氏に、ジャズを浜崎航氏に師事。

主催・問い合わせ先

主催 横浜市旭区民文化センターサンハート

(指定管理者:横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立共同事業体)

〒241-0821

横浜市旭区二俣川1丁目3番地二俣川ライフ5階

協力 大阪国際音楽コンクール、アルソ出版株式会社

045-364-3810 (9~21時・不定休)

http://www.sunheart.info

sunheart@sunheart.info

オーディションについてのお問い合わせは「サンハートオーディション担当」までお願い致します。

弦楽ピアノデュオ・管楽ピアノデュオ・室内楽部門

2020年度 参加者募集

—音楽の力で 街に 笑顔と感動を—

「サンハート・アンサンブル・オーディション」は、以下の三つの趣旨に基づき、2012年にスタートしました。

入賞者は、当館が主催するコンサートや、地域各所でのアウトリーチコンサートにご出演いただき、幅広い世代のお客様へ音楽の楽しさと素晴らしさを届けていただきます。

その為、本オーディションでは、通常のコンクールなどで審査される演奏技術や音楽性に加え、プログラム構成力やプレゼンテーション力、さらにお客様の心に響くパフォーマンス力など、総合的な表現力を含めた評価がなされます。

本オーディションを通して、地域全体の音楽活動がより豊かで実りの多いものになる事を願っています。

- 演奏家の総合的な音楽表現力の育成
- 演奏家が自らの音楽活動を通じて社会貢献できる仕組み作り
- 地域社会において、あらゆる立場の方々が、質の高い音楽に触れられる環境作り

オーディション日程

2020年10月17日(土)…予選

10月18日(日)…本選

募集期間

2020年7月1日(水)～

9月13日(日) 必着

第9回 サンハート・アンサンブル・オーディション



第9回 サンハート・アンサンブル・オーディション 募集要項

日程・会場

[予選]2020年10月17日(土) サンハートホール
[本選]2020年10月18日(日) サンハートホール

参加料

一組5,000円(予選及び本選の参加料として)
※いかなる理由も返金は致しません。(ただしコロナウイルス感染症の影響による中止の場合を除く)

募集部門

◎弦楽ピアノデュオ
◎管楽ピアノデュオ
◎室内楽(楽器編成自由。8人構成まで)

応募資格

国籍不問、年齢制限なし

応募期間

2020年7月1日(水)~9月13日(日) 必着

賞

賞	内容	組数
最優秀賞	表彰状・サンハート主催最優秀賞受賞者記念コンサートに出演	1組
優秀賞	表彰状・サンハート主催ワンコインコンサートに出演	3組程度
アルソ出版社賞	表彰状・アルソ出版発行「THE FLUTE」「THE CLARINET」「THE SAX」のいずれか一冊を各演奏者に一年間無料贈呈、誌上に「アルソ出版社賞」受賞組の記事を写真入りで掲載	1組
聴衆賞	表彰状	1組

◇最優秀賞及び優秀賞の受賞組は、審査員の推薦がある場合、来年度の大阪国際音楽コンクールファイナルへの推薦が可能です。
◇出場全組に、審査員の講評を差し上げます。
◇アルソ出版社賞：最優秀賞及び優秀賞を受賞した組の中で、フルート・クラリネット・サクソフォンのいずれかの楽器が入った最も優秀な組へ贈られます。
◇賞の内容は館の都合により、変更となる場合がございます。

審査員

白石光隆(ピアノ・審査員長)
磯絵里子(ヴァイオリン)
加藤直明(トロンボーン)
田村真寛(サクソフォン)
佐藤輝一(サンハート館長・特別審査員)

課題・審査基準

演奏時間	課題	審査指標
予選 演奏時間：8分	【自由曲2曲】 クラシックを中心とした楽曲を2曲演奏(邦楽を含む)	音楽性、テクニック、アンサンブル力などを総合的に評価。
本選 演奏時間：20分	【自由曲3曲】 アウトリーチコンサート形式。クラシック楽曲を1曲以上含み、トーク(自己紹介、曲紹介、コンサートを通して伝えたいことなど)も入れること。	予選の基準に加え、構成力、プレゼンテーション能力、エンターテインメント性などを総合的に評価。

注意事項

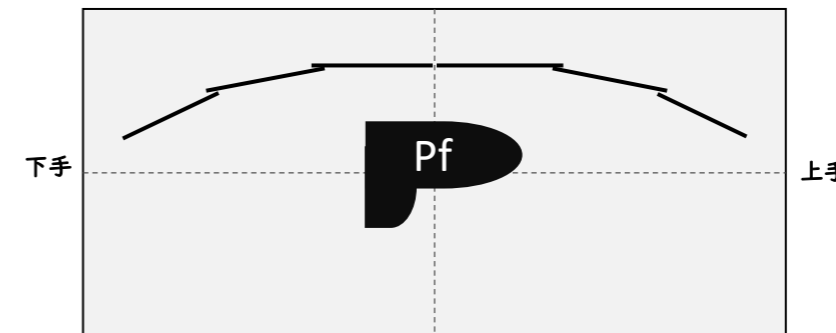
- 演奏時間は音の出だしから終わりまでの時間です。チューニングは演奏時間に含まれません。
- 予選時に演奏時間を越えた場合は、ベル等でカットする場合がありますが、減点の対象になりません。
- 本選においては、審査指標に「構成力」が含まれるため、演奏時間を超えたり、時間が満たない場合、また時間内に課題曲数を満たない場合は減点の対象となります。
- 同じ曲でも、楽章が異なれば、ひとつの楽章を1曲とみなします。
- 「クラシック」楽曲とは、一般的なクラシック音楽の範疇に限ります。また、予選・本選ともにアコースティック楽器以外の演奏はみとめません。(電子楽器・音響機材不可)
- 本選では、トーク用にワイヤレスマイクを舞台下手側に2本用意します。使用の有無は自由です。
- 予選・本選ともに公開オーディションとなります。予めご了承ください。
- 譜めくりが必要な場合は各自で用意してください。

第9回 サンハート・アンサンブル・オーディション 申込用紙

受付番号	<input type="checkbox"/> 来館・現金 <input type="checkbox"/> 郵送・郵振	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 領収印 </div>	注意事項 ※太枠内をすべてご記入下さい。ただし、プロフィールについては、別紙を添付していただく事も可能です。(「別紙」と記入) ※参加料を郵便振替にてお支払される場合は、払込受領証のコピーを裏面に糊付けして下さい。 ※応募書類、参加料の返却は致しません。
受付日 (月 日)	受付者 ()		

フリガナ アンサンブル名			<input type="checkbox"/> 弦楽ピアノデュオ <input type="checkbox"/> 管楽ピアノデュオ <input type="checkbox"/> 室内楽 ※該当する部門に✓をつける
フリガナ 代表者氏名			
フリガナ 演奏者氏名 ※「氏名(楽器名)」と記入して下さい。			
代表者住所			
代表者連絡先	携帯： - -	メール： @	※パソコンからのメール受信可能なアドレスをご記入ください。
アンサンブル プロフィール ※枠を超える場合は別紙を添付して下さい。			
演奏曲目 ※「曲(作曲者/編曲者)」と記入して下さい。 ※本選で予選と同じ曲を演奏する事も可能です。	予選①	本選①	
	予選②	本選②	
		本選③	
譜めくり 有・無 ※該当部分に○を付けてください	ピアノの使用 有・無 ※該当部分に○を付けてください	ピアノ屋根 全開・半開・クローズ ※該当部分に○を付けてください	

舞台配置図 (舞台間口は約12m、奥行は約5m/反響板設置あり)



お願い：お申込み後に変更することも可能ですが、必ずお電話で担当までご連絡ください。

【ヤマハCFX】
◆ピアノを使用する場合は「有」、使わない場合は「無」に○を。
◆ピアノ屋根の開閉について選ぶ。
◆譜めくりの有無も記入する。

【譜面台】
◆使用する場所に譜面台マーク(下記参照)を記入する。
※サンハート指定のものを使用してください。

【マイク】
◆本選時のみ、ワイヤレスマイクを下手側に2個用意しています。

【椅子】
◆該当する椅子マーク(下記参照)を、使用する場所に記入する。
※ピアノ椅子：背付4脚・ベンチ2脚まで。
※楽器用椅子：スタッキングチェア(背付き)



その他、要望・連絡事項がありましたら記入してください。

応募方法

所定の申込用紙に
必要事項を記入

①ご来館の場合

②ご郵送の場合

サンハート窓口にて参加料をお支払頂き、申込用紙をご提出下さい

郵便振替にて下記口座へ参加料をお支払頂き、払込受領証のコピーと一緒に申込用紙をご郵送下さい

ゆうちょ銀行 店名028(ゼロニハチ) 記号10260 普通 口座番号5279943